

「はこだて医療・介護連携サマリー」の全国展開に向けた 基本ツールの改正について

< 協議事項 >

「はこだて医療・介護連携サマリー（以下「サマリー」という。）」の全国展開に向けた、基本ツールの改正について、下記の事項を承認いただきたいと考えているが、いかがか。

- ・ ADL項目をバーセルインデックスに基づく項目に置き換えること
- ・ 口腔・栄養の項目を追加すること

【これまでの経過等】

- ・ 令和4年度に、厚生労働省が主催する「健康・医療・介護情報利活用検討会 介護情報利活用ワーキンググループ」の構成員を務める産業医科大学の松田 晋哉 教授から、全国で利用可能な医療・介護情報共有ツールの作成を進めるにあたり、本市のサマリーをたたき台としたいとのお話があり、令和5年3月30日の本協議会において、全国展開に向けてサマリーの様式変更等を進める方向性が承認された
- ・ これまで、松田教授や同じくワーキンググループの構成員で全国老人保健施設協会副会長である高橋病院の高橋理事長からの助言等を踏まえながら、ツール部会で協議を重ね、基本ツールについて、「ADL項目のバーセルインデックスに基づく項目への置き換え」、「口腔・栄養の項目の追加」等の改正を検討することについて、ツール部会と令和6年3月27日の本協議会での承認を得ており、その方向に沿って協議を継続している。
- ・ 協議を進める中で、令和6年5月20日の臨時ツール部会において、改正後のサマリーの本格運用前に試験運用を行うことが協議・承認されたことから、同年8月～9月に函館中央病院の協力のもとで試験運用を実施したところ、運用上の問題は生じなかったことが確認され、令和6年10月11日のツール部会において、基本ツールを試験運用に用いた様式に改正することが承認された。
- ・ 今後は、本協議会での承認が得られ次第、改正版の基本ツールをツール部会推奨版として公開するとともに、関係各所に対して積極的に周知を図っていきたいと考えている。（旧サマリーの利用も継続できる運用とする予定）